

1. インターバンク市場

3/7~11のインターバンク市場は、当座預金残高が概ね250兆円台後半で推移し、引き続き大幅な資金余剰地合が続いていた。無担保コールO/Nは一部でマイナスレートの約定が散見されているものの、基本的には0~0.001%の出合いが中心となっていた。8日には無担保コールO/N加重平均レートが0.000%となったものの、基本的には極僅かなマイナスでの推移となった。積み終盤に差し掛かったことで、マイナス圏での資金放出を手控える動きや、基礎残高に余裕のある地銀業態を中心とした調整の資金調達が発効であったことから、無担保コール市場残高はマイナス金利導入後では最高となる4兆円台半ばまで回復した。ターム物では新積み期を意識した動きから、3/16スタートの出合いが散見された。固定金利方式による共通担保オペは3/10に3M・8,000億円が新規でオファーされたものの、応札はゼロであった。

3/14~18の資金需給は18日に特別交付税の払いが予定されており、全体的に余剰気味となることが予想される。主要なイベントとしては、14~15日に開催される日銀金融政策決定会合、15~16日に開催されるFOMC、17日のMPC結果発表などが挙げられる。

2. オープン市場

3/7~11の短国市場は、総じて閑散なマーケットであった。3月に入って短国買入オペのオファー額が減少している中、海外勢の買いニーズもやや盛り上がり欠けており、大きく買い進む動きもまとまった売りも見られず、動意に乏しい状況が続いていた。週末の気配は3M物が▲0.095~▲0.085%程度、6M物が▲0.20~▲0.125%程度、1Y物は▲0.35%近辺となっていた。短国の入札は8日に6M物、10日に3M物の入札が実施された。6M物はWI取引で▲0.125%の出合いが小額見られる中、按分レート▲0.1196%・按分比率14.4707%・平均レート▲0.1294%という結果になった。3M物はWI取引で▲0.095%の出合いが小額見られる中、按分レート▲0.0802%・按分比率0.2962%・平均レート▲0.0902%という結果となった。いずれも概ね事前予想通りであった。11日には短国買入オペが12,500億円でオファーされ、按分利回較差+0.007%・按分比率20.5%・平均利回較差+0.021%という結果になった。オファー額が若干多めであったこともあり、前回よりもやや流れ気味の結果となった。

3/7~3/11のCP市場は、週間の償還総額1兆円程度に対し、週間の発行総額は5,000億円程度となった。鉄鋼、石油、不動産、ノンバンク等の業種からまとまった発行案件が見られたものの、3月末に向けた有利子負債削減の動きから、発行案件は少なく、発行残高も16兆円弱程度となっていた。発行レートは、一般事業法人の期越物は0%の水準が中心となっていた。7日にはCP等買入オペが5,000億円でオファーされ、按分レート▲0.198%・按分比率62.9%・平均レート▲0.109%という結果になった。前回(按分▲0.298%・平均▲0.037%)に比べて按分レートが上昇したものの、平均レートが大きく低下した。

3/14~18の短国市場は16日に1Y物、17日に3M物の入札が予定されている。CP市場は、引き続き発行レートが低位で推移すると見込まれる。CP等買入オペは17日に5,000億円で通知される予定となっている。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,000億円程度の発行超見通し。財政等要因は、14日の源泉所得税揚げ、社会保障費の払い、18日の特別交付税の払い等があり、1兆7,100億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で1兆6,100億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。＜14日＞TB3M:償還47,800億円・発行45,000億円 ＜15日＞2Y:償還15,700億円・発行25,000億円／個人向け3・5・10Y:発行2,300億円／個人向け3Y:償還100億円

2016年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/14 (月)	1,000	5,100	6,100	CP買入 国債補完供給 短国買入 国債買入	△ 400 200		△ 200	5,900
3/15 (火)	0	△ 6,000	△ 6,000			12,500 12,700	25,200	19,200
3/16 (水)	0	2,000	2,000				0	2,000
3/17 (木)	△ 1,000	3,000	2,000				0	2,000
3/18 (金)	△ 1,000	13,000	12,000	全店共通 (固) 貸出増加支援	△ 13,200 △ 5,500		△ 18,700	△ 6,700
週 間 合 計	△ 1,000	17,100	16,100		△ 18,900	25,200	6,300	22,400

(注) 上表の3/14は日銀予想、3/15以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/14 (月)	1月の機械受注統計(内閣府 8:50) 日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)		
3/15 (火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 1月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 1月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30) 日銀総裁定例会見(15:30)		米FOMC(1日目) 2月の米生産者物価指数 2月の米小売売上高 1月の米企業在庫
3/16 (水)		TB1Y 25,000億円 3/22発行	米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 2月の米消費者物価指数 2月の米住宅着工件数 2月の米鉱工業生産・設備稼働率
3/17 (木)	決済システムフォーラムにて黒田総裁講演 2月の貿易統計(財務省 8:50)	TB3M 45,000億円 3/22発行	20Y 12,000億円 3/22発行
3/18 (金)	決済システムフォーラムにて桑原理事講演 金融政策決定会合議事要旨(1月28,29日分 8:50)		英中銀MPC結果発表 2月のユーロ圏消費者物価指数改定値 3月のミシガン大消費者信頼感指数速報

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入